



(題字 時澤 貢 学長)

第406号  
(平成10年10月号)



▲教養教育に関する全学シンポジウム：平成10年10月2日黒田講堂大ホール  
右上は講演をする原亜細亜大学教授

## 目 次

関係法令	3	◆ 高等学校長協会との懇談会を開催	10
学内規則	3	◆ フルブライト・メモリアル・プログラムによる米国教員一行が来学	11
諸 会 議	6	◆ 富山大学リカレント学習コースを開設	11
◆ 国立17大学人文系学部長会議・事務長会議を開催	7	◆ パソコン講習会を実施	13
学 事		◆ 職員教養研修を実施	13
◆ 学位取得者	7	◆ 富山地区国立学校技術職員研修を実施	14
◆ 平成10年度民間等との共同研究受入れについて	8	◆ 学内レクリエーション（硬式庭球大会，釣大会，ビーチボール大会，ソフトボール大会）を実施	16
◆ 学術講演会を開催（経済学部）	9	◆ 海外渡航者	17
人事異動	9	◆ 外国人来訪者	18
学内諸報		職 員 消 息	
◆ 大学院工学研究科学学位記授与式を挙	9	◆ 住所変更	19
◆ 教養教育に関する全学シンポジウムを開催	10	◆ 新任者住所	19
		主 要 行 事	19

## 関 係 法 令

### （法 律）

- 一般職の職員の給与に関する法律及び一般職の任期付研究員の採用，給与及び勤務時間の特例に関する法律の一部を改正する法律（120）（平10.10.16 官報号外第213号）
- 国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律（141）（平10.10.21 官報号外第216号）

### （政 令）

- 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令（351）（平10.10.30 官報号外第225号）

### （規 則）

- 人事院規則8-13（行政職俸給表(一)の2級以下の級の官職等への任用候補者名簿による職員の任用に関する特例等）の一部を改正する人事院規則（人事院8-13-4）（平10.10.16 官報号外第213号）
- 人事院規則8-18（採用試験）の一部を改正する人事院規則（同8-18-12）（同上）
- 人事院規則9-6（俸給の調整額）の一部を改正する人事院規則（同9-6-35）（同上）
- 人事院規則9-8（初任給，昇格，昇給等の基準）の一部を改正する人事院規則（同9-8-36）（同上）
- 人事院規則9-15（宿日直手当）の一部を改正する人事院規則（同9-15-10）（同上）
- 人事院規則9-30（特殊勤務手当）の一部を改正する人事院規則（9-30-37）（同上）
- 人事院規則9-34（初任給調整手当）の一部を改正する

### 人事院規則（同9-34-15）（同上）

- 人事院規則9-40（期末手当，勤勉手当及び期末特別手当）の一部を改正する人事院規則（同9-40-15）（同上）
- 人事院規則9-89（単身赴任手当）の一部を改正する人事院規則（同9-89-2）（同上）
- 平成10年改正法附則第6項の規定による最高号俸等を受ける職員の俸給の切り替え等（同9-106）（同上）

### （告 示）

- 大学入学に関し専修学校の高等課程について文部大臣が個別に指定した件（文部145）（平10.10.14 官報第2486号）
- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校の高等課程についてその名称を平成9年4月1日から変更した件（同146）（同上）
- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校の高等課程についてその名称を平成10年4月1日から変更した件（同147）（同上）
- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校の高等課程についてその課程を平成10年3月31日をもって廃止した件（同148）（同上）
- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校高等課程についてその課程を平成10年3月31日をもってその指定を解除した件（同149）（同上）
- 出入国管理及び難民認定法第7条第1項第2号の基準を定める省令の留学及び就学の在留資格に係る基準の規定に基づき日本語教育施設等を定める件の一部を改正する件（法務326）（平10.10.15 官報第2487号）

## 学 内 規 則

### 富山大学廃液処理施設規則の一部改正

#### 富山大学廃液処理施設規則の改正理由

富山大学廃液処理施設の管理体制を明確化し，施設の運営をより円滑に行うため，所要の改正を行う。

富山大学廃液処理施設規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成10年10月16日

富山大学長 時 澤 貢

**富山大学廃液処理施設規則の一部を改正する規則**

同条第3項を次のように改める。

- 3 施設長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、引き続き4年を超えることができない。

富山大学廃液処理施設規則（昭和61年4月18日制定）

の一部を次のように改正する。

**附 則**

第3条第2項中「及び助教授」を削る。

この規則は、平成10年10月16日から施行する。

## 富山大学廃液処理施設運営委員会規則の一部改正

**富山大学廃液処理施設運営委員会規則の改正理由**

- 1 富山大学廃液処理施設運営委員会の管理体制を明確化し、同委員会の運営をより円滑に行うため、所要の改正を行う。
- 2 字句の整理を行う。

富山大学廃液処理施設運営委員会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成10年10月16日

富山大学長 時 澤 貢

**富山大学廃液処理施設運営委員会規則の一部を改正する規則**

第3条第1項第2号中「教官」を「教員」に改める。

第5条第1項中「委員の互選とする」を「施設長をもって充てる」に改める。

富山大学廃液処理施設運営委員会規則（昭和61年4月18日制定）の一部を次のように改正する。

**附 則**

この規則は、平成10年10月16日から施行する。

## 富山大学セクシュアル・ハラスメント等対応検討委員会要項の制定

## 富山大学セクシュアル・ハラスメント等対応検討委員会要項の制定理由

富山大学におけるセクシュアル・ハラスメント等の人権侵害の防止及び対応について検討するための富山大学セクシュアル・ハラスメント等対応検討委員会に関し、必要事項を定める。

富山大学セクシュアル・ハラスメント等対応検討委員会要項を次のとおり制定する。

平成10年10月16日

富山大学長 時 澤 貢

## 富山大学セクシュアル・ハラスメント等対応検討委員会要項

## (設 置)

第1条 富山大学におけるセクシュアル・ハラスメント等の人権侵害の防止及び対応について検討するため、富山大学セクシュアル・ハラスメント等対応検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

## (任 務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について検討し、具体案を策定する。

- (1) ガイドラインに関すること。
- (2) 窓口、調査及び措置等の対応機関に関すること。
- (3) 制度の周知に関すること。
- (4) 公開の基準に関すること。
- (5) その他委員会が必要と認めた事項。

## (組 織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 評議員 1人
- (2) 各学部から選出された教員 各2人
- (3) 保健管理センター教員 2人
- (4) 学生部長
- (5) 庶務部長
- (6) 学生部次長
- (7) その他委員会が必要と認めた者

2 前項第2号及び第7号の委員は、学長が委嘱する。

## (任 期)

第4条 委員の任期は、原案を策定するまでの間とする。

## (委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、第3条第1項第1号又

は第2号の委員をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

## (議 事)

第6条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会することができない。

2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

## (意見の聴取)

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者（学外者を含む。）の出席を求め、意見を聴くことができる。

## (部 会)

第8条 委員会に、専門的事項を検討するため、学生部会及び教職員部会を置く。

2 学生部会は、第2条に掲げる事項のうち、学生に関わる事項について検討し、具体案を委員会へ報告する。

3 学生部会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 第3条第1項第2号の委員（教職員部会に属する委員を除く。） 各学部1人
- (2) 第3条第1項第3号の委員（教職員部会に属する委員を除く。） 1人
- (3) 第3条第1項第4号の委員
- (4) 第3条第1項第6号の委員

4 学生部会に部会長を置き、第3条第1項第4号の委員をもって充てる。

5 教職員部会は、第2条に掲げる事項のうち、教職員間に関わる事項について検討し、具体案を委員会へ報告する。

6 教職員部会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 第3条第1項第1号の委員
- (2) 第3条第1項第2号の委員（学生部会に属する委員を除く。）各学部1人
- (3) 第3条第1項第3号の委員（学生部会に属する委員を除く。）1人
- (4) 第3条第1項第5号の委員

7 教職員部会に部会長を置き、委員長をもって充てる。

（庶務）

- 第9条 委員会の庶務は、庶務部人事課において処理する。
- 2 学生部会の庶務は、学生課において処理する。
  - 3 教職員部会の庶務は、庶務部人権課において処理する。

附 則

この要項は、平成10年10月16日から実施する。

## 諸 会 議

第1回大学改革推進委員会（10月2日）

（審議事項）

- (1) 委員長の選出について
- (2) 専門委員会の設置について
- (3) その他

第3回教務委員会（10月8日）

（審議事項）

- (1) SCS（スペース・コラボレーション・システム）の設置及び利用形態等について
- (2) 教育職員免許法改正に伴う検討課題について
- (3) 多様な学生像に対応した教育システムの確立について

第1回将来計画委員会（10月14日）

（審議事項）

- (1) 本学の理念、将来構想について
- (2) その他

第8回部局長懇談会（10月16日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第10回評議会（10月16日）

（審議事項）

- (1) 富山大学廃液処理施設規則の一部改正について
- (2) 富山大学廃液処理施設運営委員会規則の一部改正について

- (3) セクシュアル・ハラスメント問題の再発防止の方策を検討する組織について
- (4) 学生の懲戒について
- (5) 学生の除籍について
- (6) 学長補佐体制について
- (7) その他

第2回大学改革推進委員会（10月16日）

（審議事項）

- (1) 専門委員会の設置について
- (2) その他

第6回事務協議会（10月20日）

（議 題）

当面の諸課題について

第1回事務電算化委員会（10月20日）

（審議事項）

- (1) 富山大学事務電算化委員会規則の改正について
- (2) 富山大学事務情報化推進計画について
- (3) 事務用電子計算機の更新計画について
- (4) その他

第4回環日本海地域研究センター運営委員会（10月20日）

（協議事項）

- (1) 平成10年度共通経費について
- (2) 研究プロジェクトの募集について
- (3) 図書の購入について
- (4) 第2回富山大学環日本海地域研究センター主催シ

ンポジウム実行委員会について  
(5) その他

クト)の採択について  
(2) その他

第5回学生生活協議会(10月21日)

(審議事項)

- (1) 学生守則の一部改正(案)について
- (2) その他

第3回自己点検評価委員会(10月30日)

(審議事項)

- (1) 平成9年度自己点検報告書における問題点及び改善事項について
- (2) 研究者総覧について
- (3) 平成11年度自己点検評価について
- (4) その他

第3回総合情報処理センター運営委員会(10月29日)

(審議事項)

- (1) 学長裁量経費(富山大学ホームページ開発プロジェ

## 国立17大学人文系学部長会議・事務長会議を開催

去る10月15日(木)、16日(金)の2日間にわたり富山大学が当番校となり、平成10年度国立17大学人文系学部長会議並びに同事務長会議を名鉄トヤマホテルで開催しました。

協議事項のうち『大学審議会答申「21世紀の大学像と今後の改革方策について」(中間まとめ)を受けて』と「人文系学部の抱える課題」では、各大学の現状や検討結果等を踏まえて、今後の国立大学における大学改革の在り方や対応について、予定時間を30分もオーバーする中で活発な意見交換、討論が行われました。

また、承合事項の「教育職員免許法改正に伴う課程認定について」及び「介護等体験について」では、各大学の取り組んでいる状況についてそれぞれ紹介が行われま

した。

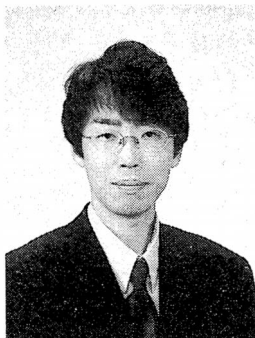


▲活発な意見交換が行われた学部長会議

学

事

### 学 位 取 得 者



学位取得者

学位の種類

取得年月日

学位論文名

論文の要旨

経済学部 講師 内田 康郎

博士(学術)(横浜国立大学)

平成10年3月31日

The Development of Strategic Characteristics in International Corporate Alliances

(国際提携にみる戦略的性格の形成と成長)

国際的な企業競争において基本戦略とされる企業間提携の実態調査をもとに、市場における競争優位のパラダイムがどのようにシフトするかについて分析した。また、これを通じ新たな概念となる競争優位の源泉を『「標準化」の経済性』として独自に設定し、実証的な研究を進めた。

平成10年度 民間等との共同研究受入れ一覧表

平成10年4月～9月

区分	研究 題 目	民間 機 関 名	大学側研究代表者
A	新エネ発電システムの出力安定化に関する基礎研究	北陸電力(株)地域総合研究所	工学部 教授 作井 正昭
B	極低温超伝導材料の開発	大平洋製鋼(株)富山製造所	理学部 教授 石川 義和
々	自動化・省力化設備構造用キットの特性解析	エヌアイシ・オートテック(株)	工学部 教授 小泉 邦雄
々	低Mg押出合金の開発	新日軽(株)北陸製造所	工学部 教授 池野 進
々	建築構造物後流の過発生と風鳴り音の予測に関する研究	立山アルミニウム工業(株)	工学部 助手 島田 邦雄
々	火力プラント高温強度部材の寿命診断手法の開発に関する研究	北陸電力(株)地域総合研究所	工学部 教授 塩澤 和章
々	船舶用軸受材のメタルライニングの改善	日本マリンテクノ(株)	工学部 教授 佐治 重與
々	積層箔の繰り返し圧下によるメカニカルアロイング	大同工業(株)製品企画部	工学部 教授 佐治 重與
々	展伸用アルミニウム合金の半凝固鑄塊に関する研究	富山合金(株)	工学部 教授 池野 進
々	水中に存在する微量有機物の定量方法に関する研究	シロウマサイエンス(株)	工学部 教授 長谷川 淳
々	構造用アルミニウム中空押し形材の寸法精度及び強度に関する研究	アイシン軽金属(株)	工学部 助教授 高辻 則夫
々	澱粉糊の老化の構造変化と澱粉をベースとした生分解性ポリマーの研究	ヤヨイ化学工業(株)	工学部 教授 島崎長一郎
々	環状シアナミド類の熱特性と防熱機構に関する研究	日産化学工業(株)富山工場	工学部 教授 島崎長一郎
々	有機EL薄膜素子の研究	北陸電気工業(株)	工学部 教授 女川 博義
々	アルミニウム熱間押し加工中の押し金型変形に関する研究	YKK(株)	工学部 教授 松木 賢司
々	アルミニウム合金のメタルフローに関する基礎研究	立山アルミニウム工業(株)	工学部 助教授 高辻 則夫
々	薄肉幅広押し形材の品質向上に関する研究	富山軽金属工業(株)	工学部 教授 松木 賢司
々	揮発性アミン呈色指示薬の基礎的実験	南越ケミカル(株)	工学部 助教授 蓮覚寺聖一
々	超硬素地上のTiAIN及びTiNのエッチングの研究	(株)不二越	工学部 助教授 蓮覚寺聖一
々	ITO膜の膜厚とその電気的特性の研究	SMK(株)富山事業所	工学部 教授 森 克徳
々	置換促進剤によるメタンハイドレート中のメタンCO2置換速度の向上に関する研究	北陸電力(株)地域総合研究所	工学部 教授 加藤 勉
々	Ni-Auメッキと半田の接合強度に関する研究	富山日本電気(株)	工学部 教授 龍山 智榮
々	活性酸素による生体分子の酸化に関する研究	(株)新潟県環境衛生研究所	工学部 助教授 松郷 誠一
々	TN液晶の配向性についての研究	(株)アイテス	工学部 教授 女川 博義
々	多孔性セルロース微粒子及びセルロース膜の特性解析と機能化に関する研究	レンゴー(株)福井研究所	工学部 教授 北野 博巳
々	メッキ及びコーティング層の新評価法開発に関する基礎的研究	(株)高松メッキ	工学部 教授 能登谷久公
々	押出性を向上させるフローガイドに関する研究	住友軽金属工業(株)研究開発センター	工学部 助教授 高辻 則夫

※共同研究の区分

A : ① 国立学校において、民間機関等から研究者及び研究経費等を受け入れ、国立学校においても直接経費の一部を負担し、このため別途共同研究費(校費)の配分を要する場合

② 国立学校及び民間機関等において共通の課題について分担して行う研究で、民間機関等から研究者及び研究経費等、又は研究経費等を受け入れ、国立学校においても直接経費の一部を負担し、このため別途共同研究費(校費)の配分を要する場合

B : ① 国立学校において、民間機関等から研究者及び研究経費等を受け入れて実施するもので、国立学校においても直接経費の負担を要しないか、直接経費の一部を負担しても別途共同研究費(校費)の配分を要しない場合

② 国立学校及び民間機関等において共通の課題について分担して行う研究で、民間機関等から研究者及び研究経費等、又は研究経費等を受け入れ、国立学校においても直接経費の負担を要しないか、直接経費の一部を負担しても別途共同研究費(校費)の配分を要しない場合

C : 国立学校において、民間機関等から研究者の受入れのみを行い、研究内容、性格から直接経費の措置を要しない場合

※年度別実績件数(過去5年間)

	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
区分A	4件	2件	3件	4件	2件
区分B	20件	23件	24件	31件	35件
区分C	3件	5件	0件	1件	1件
計	27件	30件	27件	36件	38件



## 学 術 講 演 会 を 開 催

経済学部では、学部間学術交流協定を締結している中国人民大学計画統計学院から劉起運教授（国民経済管理系副主任）を招へいして学術講演会を開催しました。

講演会は、経済学部と環日本海地域研究センターの共催で、去る10月23日（金）に行われ、中国数量経済学会副理事長、中国投入産出学会常務副理事長でもある劉教授から、「中国産業構造の投入産出分析」のテーマで基調講演があり、続いて参加者と活発な討論が行われました。

また、講演会に先立ち劉教授は、古田経済学部長及び神原経済学部国際交流委員会委員長と両大学の現状等について和やかな懇談があり、相互理解を深めることができました。



▲古田経済学部長と挨拶を交わす劉教授（右）

## 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
昇 任	10.11. 1	山 本 辰 美	教務職員 工学部（物質生命システム工学科プロセス工学）	助 手 工学部（物質生命システム工学科プロセス工学）
育児休業	10.10.27	星 野 由 紀 子	教務職員 工学部（物質生命システム工学科応用化学）	育児休業（～11. 7.31）

## 学 内 諸 報

### 大学院工学研究科学学位記授与式を挙

大学院工学研究科博士後期課程学位記授与式が、去る10月1日（木）午後1時30分から学長室において挙行されました。

時澤学長から、システム生産工学専攻（郭立新）、物質生産工学専攻（宇野清文、鳥山成一）の3人に学位記が授与されました。

式終了後、学長、工学研究科長、指導教官等を交え懇談がありました。



▲学長から学位記を授与

## 教養教育に関する全学シンポジウムを開催

教養教育委員会企画専門委員会

委員長 宇井啓高

去る10月2日(金)午後1時から5時まで、教養教育委員会主催によるシンポジウムが黒田講堂で開かれました。富山大学の教育改革が実行に移されて5年あまりが経過し、今後の教養教育の更なる発展をめざして、教職員130人余りが参加して講演と全体討議に活発な意見交換が行われました。教養教育企画専門委員会では、本シンポジウムを開催するに当たり議論を重ね、多くの教員の参加を呼びかけていました。

シンポジウムでは、第一部で亜細亜大学教授原一雄氏から「FDを考える－大学教官の生涯学習課題として－」、第二部で富山大学教育学部教授瀧澤弘氏から「富山大学は教育改善で何をめざしたか」と題して講演をしていただきました。その後、二人の講師の話題提供を受けて、活発に全体討議が行われました。

原一雄教授の講演では、FDの定義、必要性、問題点が話され、FDに取り組んでいる大学があるかという質問に対して、東海大学などの名前を挙げて説明がなされました。

瀧澤弘教授の講演では、“富山大学の発展を心から願う”立場から、大学設置基準の大綱化前後における富山大学の議論が紹介され、特に外国語と保健体育につい

て、学部責任体制にすべきであるという提言がなされました。

全体討議・まとめでは、活発な意見発表があり、瞬間に予定の時間が来てしまいました。諸々の意見が出された後、最後に企画専門委員長がまとめを行いました。その中で、教養教育の捉え方についてはさらに議論すべきであること、教育に対する評価を人事等にも反映させるべきであること、教養の理念についてさらに論議を深める必要があることが指摘されました。

教養教育委員会企画専門委員会では、本シンポジウムの内容を広く教職員に知っていただくために、報告書を作成する方向で準備を始めています。



▲全体討議

## 富山、石川両県の高等学校長との懇談会を開催

－高等学校教育から大学教育への円滑な移行に向けて－

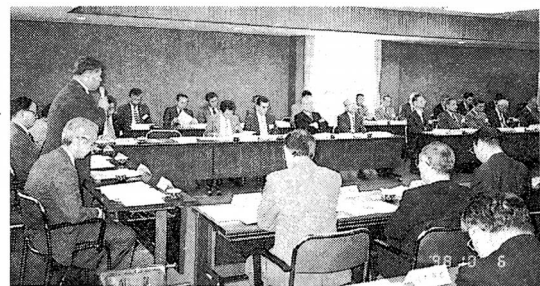
「平成10年度高等学校長協会と富山大学との懇談会」を、去る10月6日(火)に工学部大会議室で開催しました。

この懇談会は、高等学校と大学との“接点”である大学入試を中心として、それぞれの教育の現状や問題点について意見交換を行い、相互理解を深めることを目的に毎年開催しています。

今回の懇談会には、富山県内から32校、石川県内から15校の高等学校長と富山県教育委員会関係者等2人の計49人と、大学側から時澤学長をはじめ能登谷学生部長、各学部長などが出席しました。

時澤学長の挨拶、大学概要の説明、各学部の近況説明

の後、『高等学校教育から大学教育への円滑な移行に向けて』をテーマに終始活発な意見交換が行われ、実り多い懇談会となりました。



▲挨拶をする上田富山県高等学校長協会会長

## フルブライト・メモリアル・プログラムによる米国教員一行が来学

去る10月15日(木)にフルブライト・メモリアル基金教育者招へいプログラムによる米国人教育者一行20人が本学を訪れました。

一行は、学長から歓迎の挨拶を受けた後、教育学部の組織、課程の概要、授業内容及びカリキュラム等についての説明を受け、続いて附属図書館のヘルン文庫を見学しました。次いで、教育学部において美術教育、音楽教育の授業を参観し、また、教員、大学院生と教育改革、道德教育、コンピュータを利用した教育等について活発な意見交換を行いました。



▲美術教育を参観する一行

## 富山大学リカレント学習コース「WWWコンテンツ作成技術の基礎から応用まで」を開設

WWW (World Wide Web: 世界的な規模の蜘蛛の巣という意味) というハイパーメディア対応の情報検索システムが登場し、その使い易さがインターネット利用者を加速度的に増大させてきました。現在では、このWWWによる情報の提供・収集がなければ、ビジネスが成立しない状況になってきました。本学では、このような状況を踏まえ、より詳細な情報を効率よく、かつUp-to-dateな形で提供できるような、コンテンツ作成技術の基礎から応用までを、最新技術を網羅しながらリカレント教育(社会の変化に対応する、専門的で高度な知識・技術や新たに必要となった知識・技術のキャッチ・アップのための教育)という形で学習するコースを、総合情報処理センターが企画して、去る10月19日から30日までの11日間(36時間)にわたり開設しました。

今年度の学習コースには、一般企業・自営業から6人、地方公共団体・教育機関から7人の計13人の現役Web経験者が受講し、WWW作成のための新技術を、実習を中心に体験学習をして最終的にWWW自由課題を各受講者が作り、発表する形式で進められました。受講者作成のホームページ発表は最終日に行われ、次の7項目について各自10分間程度発表しました。

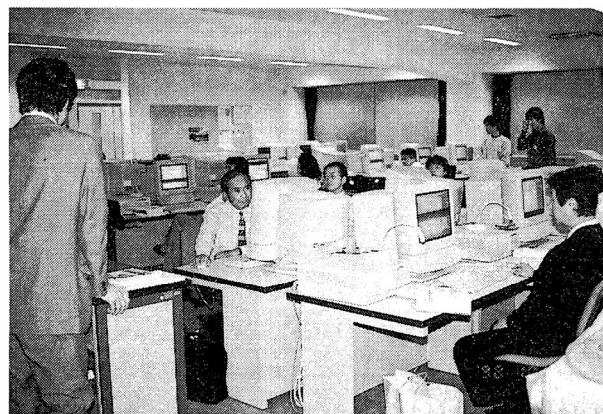
1. 何を掲載するのか?
2. どのように表示しようとしたのか?
3. 誰をアクセスの対象としているのか?
4. ページの構成とメニューの展開をどのように工夫

したか?

5. ページ作成のルールについて何処に留意したか?
6. 新しい技術をどのように採り入れたか?  
(1)Netscape Composer, (2)画像処理(PhotoShop),  
(3)映像音響処理(VideoShop), (4)CGI/SSI,  
(5)検索エンジン, (6)JavaScript, (7)Dynamic HTML
7. 自己採点をすると100点満点で何点か?

これらのホームページの評価は、次の4項目と6人の教官個人の視点で行いました。

1. 作成者の意図したページは作られているか?
2. 新しい技術はどの程度ページ作成に採り入れられているか?
3. アクセス・ビクターへのインパクトはあるか?
4. 作成者独自の工夫点は評価できるか?



▲熱心に受講する受講生

その結果、山西総合情報処理センター長から、WWWコンテンツは「何を誰にどのように伝えたいのかを率直に表現することであり、それは技術ではなく中身である。」と講評があり、優秀賞に塚本信三、吉崎靖之、尾

崎美穂、土谷恵美子の4氏の作品が選ばれました。受講者は後半のコースがやや難しかったが、全体としてはほぼ満足したと感想を述べていました。

なお、プログラムは次のとおりです。

## 平成10年度 富山大学リカレント学習コース

### 「WWWコンテンツ作成技術の基礎から応用まで」のプログラム

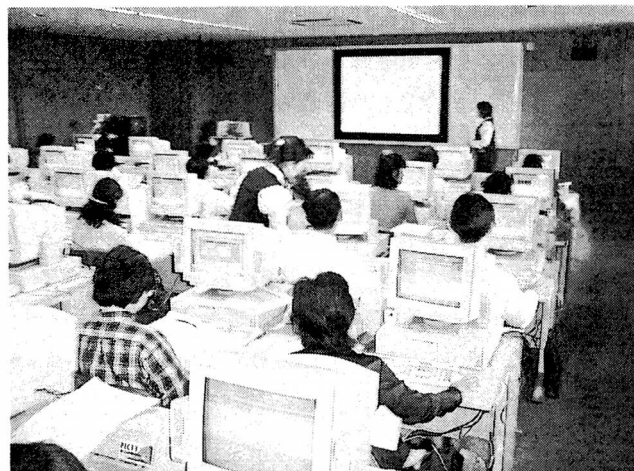
回	日 時	講 義 ・ 実 習 テ ー マ	講 師
1	10日19月(月) 18:00~21:00	HTML入門 -素晴らしいページ巡りとテキストの入力・編集-	教育学部助教授 堀田 龍也
2	10日20月(火) 18:00~21:00	HTML演習 -WWWコンテンツ作成会社のプログラマを体験する-	理学部 助 手 幸山 直人
3	10日21月(水) 18:00~21:00	効果的なコンテンツ作成 -コンテンツ作成ツールとその効果的な使用方法-	教育学部助教授 向後 千春
4	10日22月(木) 18:00~21:00	コンテンツのデザイン -もっとスタイリッシュに-	教育学部助教授 向後 千春
5	10日23月(金) 18:00~21:00	画像のページ・デザイン -画像の入力・編集-	教育学部助 手 岡根 江見
6 ・ 7	10日24月(土) 9:00~12:00 13:00~16:00	WWWページ自由課題の作成	総合情報処理センター助教授 高井 正三 教育学部助 手 岡根 江見 経済学部助 手 上木佐季子 理学部 助 手 幸山 直人 工学部 助 手 瀧田 啓司
8	10日26月(月) 18:00~21:00	画像のページ・デザイン -音声音響映像の入力・編集-	教育学部助教授 黒田 卓
9	10日27月(火) 18:00~21:00	アクセス・ビジターの情報収集 -フォーム(入力書式), フィードバック, CGI-	総合情報処理センター助教授 高井 正三
10	10日28月(水) 18:00~21:00	サーチ・エンジンの効果的な使用方法と作成 -効果的な検索方法と特定分野向けサーチ・エンジンの作成-	工学部 助 手 瀧田 啓司
11	10日29月(木) 18:00~21:00	JavaScript によるページ作成 -WWWの未来へ-	工学部 助 手 瀧田 啓司
12	10日30月(金) 18:00~21:00	ページ発表会 -素晴らしいページとは何か-	総合情報処理センター長 山西 潤一 総合情報処理センター助教授 高井 正三 教育学部助 手 岡根 江見 経済学部助 手 上木佐季子 理学部 助 手 幸山 直人 工学部 助 手 瀧田 啓司

## パソコン講習会を実施

去る10月13日(火)から15日(木)までの3日間(午前中)、事務職員を対象としたパソコン講習会を附属図書館マルチメディア研修室で実施しました。

この講習会は、事務情報化の一環として職員へのパソコン配備が進み、これらの有効活用を図るもので、今回は、講習会科目を職員の希望に添ったものとするため、アンケートを行い、「Excel入門」を実施し、30人の受講者は、外部講師の丁寧な講義に熱心に取り組んでいました。

今後は、職員の希望に添った「一般ユーザコース」を年数回実施するとともに、事務情報化推進スタッフ養成のための「リーダーコース」も計画的に実施する方針である。



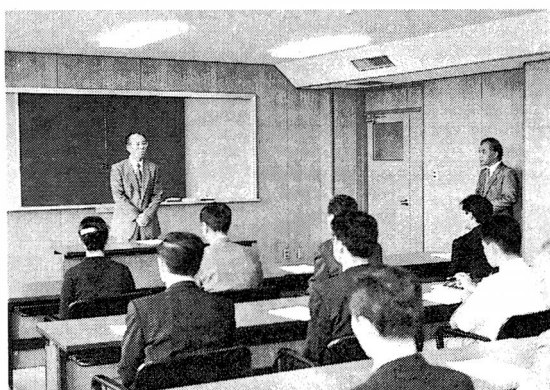
▲パソコン講習会

## 放送大学の授業を利用した職員教養研修を実施

去る10月1日(木)に放送大学の授業を利用した職員教養研修の開講式を行い、水上事務局長から放送大学の設立経緯や生涯学習の必要性等について挨拶があり、20人の受講生は勉学に意欲を燃やしていました。

この研修は、職員の職務遂行に必要な行政的視野、社会的視野を深め、資質の向上を図るもので、放送大学の授業科目の中から受講生各自が選択した科目はバラエティに富んでおり、受講生は本年10月から半年間科目履修生として放送大学に入学し、本学本部庁舎のCS放送受信設備や放送大学富山地域学習センターを利用して学習することになっています。

なお、受講者、受講科目は次のとおりです。



▲開講式で挨拶をする水上事務局長

## 受講者名簿

番号	所属	氏名	受講科目
1	庶務部	橘 千夏	中国語Ⅱ
2	〃	白山 一男	法学入門
3	〃	高邑 欣市	生涯発達と生涯学習
4	経理部	新井 浩	財政学
5	〃	大場 和夫	法学入門
6	〃	高崎 淳也	会計学
7	施設課	村道 俊一	英語Ⅰ('96)
8	学生部	大崎 秀雄	国際化と教育
9	〃	石川 裕史	情報基礎管理学
10	人文学部・理学部	中田 孜	ジェンダーの社会学
11	〃	齋藤 純一	ライフコース論
12	教育学部	寺脇 誠一	日本語表現法
13	〃	奥田 都	洗濯と洗剤の科学('98)
14	経済学部	高木 晃	教育・経済・社会
15	〃	新庄 忍	日本列島の地球科学
16	工学部	寺林 真佐美	英語Ⅱ('98)
17	〃	川成 淳也	カウンセリング
18	〃	金森 美枝子	日本語表現法
19	附属図書館	能波 輝之	メディアと教育
20	〃	脇坂 勝人	中国の歴史と社会('98)

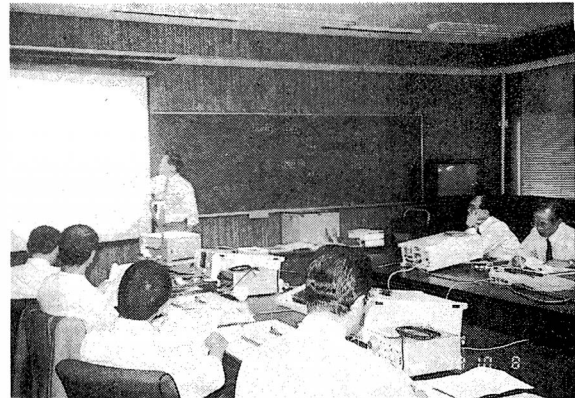
## 第7回（平成10年度）富山地区国立学校技術職員研修を実施

去る10月8日(木)第7回（平成10年度）富山地区国立学校技術職員研修を、工学部を会場として実施しました。

研修には、富山県内5機関から30人の参加者があり、本年度から本学技術部の企画で「技術の伝承と保存」を目的に技術専門職員が講師となる実習を取り入れ、本学の4人が各自の専門領域（電気、機械、物理(放射線計測)、化学)の実習を企画・担当しました。

受講者からは、「高度な内容で充実していた。」「丁寧に分かりやすい。」と好評で、初めての試みであったが、有意義な研修となりました。

なお、日程及び受講者は次のとおりです。



▲実習

## 第7回（平成10年度）富山地区国立学校技術職員研修日程表

会場：富山大学工学部102講義室

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
		9:20	10:20		12:15					16:40	
10月8日(木)	開式	オリエンテーション	講義 「目の仕組みと光環境について」 富山大学工学部教授 中嶋芳雄	移動	実習 4コース	昼食	実習 ①「デジタルICの基礎と応用回路」 “ TTLとCMOSの正しい使い方” 講師 富山大学工学部技術専門職員 高安 勇吉 場所 工学部電気棟2Fゼミナール室 ②「電気油圧制御システムのFFTアナライザを用いたアナログシミュレーション」 講師 富山大学工学部技術専門職員 高瀬 博文 場所 工学部機械知能システム工学科会議室 ③「環境の放射線測定とその措置について」 講師 富山大学庶務課技術専門職員 高塚 清文 場所 総合情報処理センター2F端末室 ④「色素と染色」 講師 富山大学教育学部技術専門職員 奥田 都 場所 教育学部2F化学実験室			移動	閉式

## 受 講 者 名 簿

NO	機 関 名	所 属	氏 名	備 考
1	富山医科薬科大学	研究協力課 総務係	森 腰 正 弘	実習 ④
2	〃	〃 〃	川 原 昌 彦	実習 ④
3	〃	〃 〃	恒 田 則 子	実習 ①
4	〃	〃 〃	澤 谷 和 子	実習 ④
5	〃	〃 〃	庄 司 美 樹	実習 ③
6	富山工業高等専門学校	学生課 技術教育班	島 政 司	実習 ③
7	富山商船高等専門学校	庶務課 実験実習第二係	磐 田 忠 三	実習 ②
8	〃	〃 〃	小 竹 外 治	実習 ②
9	高岡短期大学	学生課	畑 篤	実習 ③
10	〃	〃	砺 波 浩 二	実習 ④
11	富 山 大 学	人文・理学部 ガラス工作室	岩 城 廣 光	実習 ④
12	〃	水素同位体機能研究センター	原 正 憲	実習 ③
13	〃	総合情報処理センター	豊 本 勉	実習 ②
14	〃	〃	川 原 智 徳	実習 ③
15	〃	工学部 電気電子システム工学科	北 村 岩 雄	実習 ②
16	〃	〃 〃	柴 田 幹	実習 ②
17	〃	〃 〃	本 田 和 博	実習 ①
18	〃	〃 知能情報工学科	丸 山 博	実習 ①
19	〃	〃 〃	大久保 篤 志	実習 ①
20	〃	〃 物質生命システム工学科	井 澤 真由美	実習 ③
21	〃	〃 機械知能システム工学科	渡 辺 秀 一	実習 ①
22	〃	〃 〃	大 山 達 雄	実習 ①
23	〃	〃 〃	友 坂 敏 信	実習 ②
24	〃	〃 物質生命システム工学科	中 村 善 志	実習 ①
25	〃	〃 工 場 係	谷 口 泰 一	実習 ②
26	〃	〃 〃	藤 岡 和 典	実習 ④
27	〃	〃 〃	中 尾 良 行	実習 ②
28	〃	〃 〃	二 宮 英 治	実習 ①
29	〃	〃 〃	高 村 浩 之	実習 ①
30	〃	〃 〃	山 田 聖	実習 ④

技術発表（2名）：富山大学 原 正憲・大久保篤志

学 内 レ ク リ エ ー シ ョ ン

<硬式庭球大会>

平成10年度学内硬式庭球大会が、去る10月3日(土)本学軟式庭球場において行われました。本大会は、当初の予定日が台風の影響で順延となり、当日の前々日も台風の接近で実施が懸念されましたが、台風一過の秋空のもと、約40人の参加者により、男女混合の団体戦で熱戦が繰り広げられました。その結果、工学部が人文学部の3連覇を阻み、見事優勝しました。なお、成績は次のとおりです。

- ☆ 優勝 工学部
☆ 準優勝 人文学部

<釣大会>

平成10年度学内釣大会が、去る10月3日(土)午後1時から富山新港東防波堤周辺において実施されました。当日は、快晴で釣には絶好の天候に恵まれ、男女23人の太公望が決められた魚種を、より重い釣果を目指して竿を3時間30分にわたって操りました。大会は、腕に自信のある男性をしのいで、女性参加者(4人)から、申田小百合さん(附属図書館)が優勝しました。なお、成績は次のとおりです。

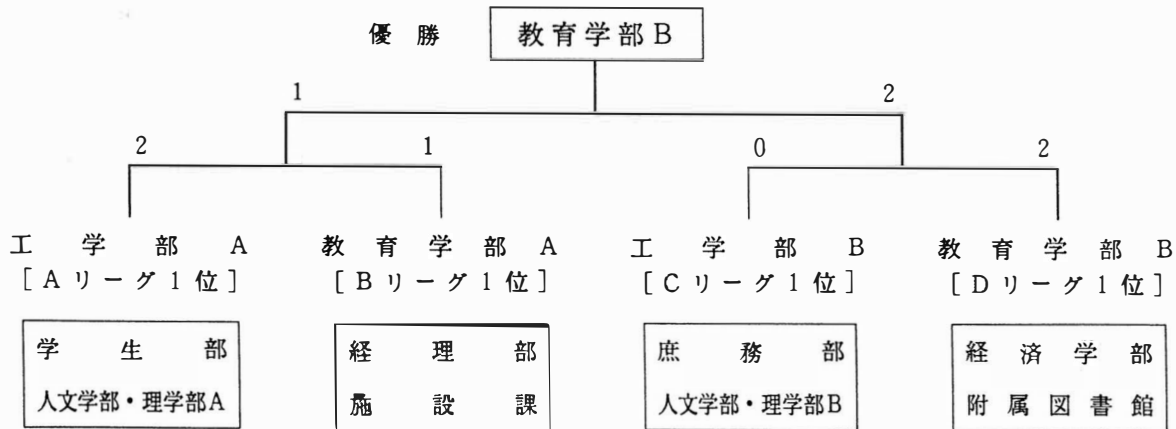
- ☆ 優勝 申田 小百合(附属図書館)
☆ 準優勝 木下 晋(附属図書館)
☆ 第3位 長谷 博行(工学部)

<ビーチボール大会>

平成10年度学内ビーチボール大会の決勝トーナメントが、4リーグ各1位の4チームにより、去る10月6日(火)に本学第3体育館において実施されました。本大会は、各部局から12チームが参加して、予選は4リーグに分かれ各3チームで、激しい熱戦のなかにも、時には笑いも出る和やかな雰囲気の中で、好試合が繰り広げられました。その結果、順当に勝ち進んだ教育学部Bと工学部Aの決勝戦となり、セット・ポイント2対1で教育学部Bが工学部Aを接戦のすえ下して優勝しました。なお、成績及び対戦結果は次のとおりです。

- ☆ 優勝 教育学部B
☆ 準優勝 工学部A
☆ 第3位 工学部B, 教育学部A

平成10年度学内ビーチボール大会対戦結果一覧表





<ソフトボール大会>

平成10年度学内レクリエーション部局対抗ソフトボール大会が、例年どおり真夏炎天下の7月17日から、落ち葉の舞う10月22日までの3か月の間、各部局の日程の調整に苦慮しながらも、無事決勝戦を終えることができました。

本大会は、8チームが参加し、事務局長をはじめ幅広い教職員の参加を得て、活気ある試合が繰り広げられ、一生懸命な参加者のプレーに部局の壁を越えた声援が飛び交う中、全員が楽しみながらの試合が展開されました。

決勝戦は、連覇をねらう強豪の工学部と施設課・附属図書館との対戦となり、地力に勝った工学部が11対3の大差で施設課・附属図書館を破り、みごと2連覇を果たしました。

なお、成績は次のとおりです。

- ☆ 優勝           工学部
- ☆ 準優勝       施設課・附属図書館
- ☆ 第3位        経理部, 教育学部

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	工 学 部	助 教 授	山 田 茂	中 華 人 民 共 和 国	ICPCG'98国際会議に出席, 研究発表, 資料収集等	10.10. 2 } 10.10.15
	水素同位体機能研究センター	教 授	渡 辺 国 昭	中 華 人 民 共 和 国	Metal-Hydrogen 国際シンポジウムに出席, 情報収集	10.10. 3 } 10.10.14
		事 務 局 長	水 上 修 一	中 華 人 民 共 和 国	中国高等教育事情調査	10.10. 5 } 10.10.15
	教育学部	教 授	山 西 潤 一	中 華 人 民 共 和 国	ICCE (コンピュータと教育) 国際会議に出席	10.10.10 } 10.10.17
	水素同位体機能研究センター	助 教 授	蘆 田 完	オ ー ス ト リ ア	第1回IAEA (国際電子力機関) 共同研究計画会議に出席	10.10.18 } 10.10.22
	〃	助 教 授	蘆 田 完	ア メ リ カ 合 衆 国	トリチウムプラズマ材料相互作用に関する研究	10.10.24 } 10.11.23
	教育学部	助 教 授	堀 田 龍 也	カ ナ ダ	「情報化に対応した学習指導の力量の向上をめざした教員研修カリキュラムの開発と評価」についてレビューを受ける	10.10.27 } 10.11. 4
	〃	助 教 授	黒 田 卓	〃	〃	〃
	工 学 部	教 授	龍 山 智 榮	中 華 人 民 共 和 国	第5回中日薄膜シンポジウムに出席, 研究発表, 討論, 情報交換	10.10.30 } 10.11. 8
〃	助 教 授	川 原 田 淳	中 華 人 民 共 和 国	IEEE EMBS'98国際会議に出席, 研究発表	10.10.30 } 10.11. 2	

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
海外研修	理学部	助教授	大藤 茂	ロシア連邦	ロシア沿海州地域の中高生層の地質調査	10.10.1 } 10.10.11
	〃	教授	東川 和夫	大韓民国	複素解析に関する研究打合せ	10.10.9 } 10.10.15
	工学部	教授	升方 勝巳	大韓民国	プラズマ技術と応用に関する日韓合同ワークショップに出席, 研究打合せ	10.10.9 } 10.10.12
	理学部	助教授	栗本 猛	ドイツ連合王国	Ringberg会議に出席, 研究発表, 研究打合せ等	10.10.10 } 10.10.19
	工学部	助教授	田島 正登	メキシコ	1998情報理論とその応用に関する国際シンポジウムに出席, 座長担当, 研究発表	10.10.13 } 10.10.18
	理学部	助教授	大藤 茂	大韓民国	地球及び環境科学に関する国際シンポジウムに出席, 講演, 研究打合せ	10.10.14 } 10.10.17
	〃	助教授	藤田 安啓	フランス	エルゴード制御理論に関する研究打合せ	10.10.16 } 10.10.25
	人文学部	助教授	赤尾 千波	アメリカ合衆国 バハマ国	第1回カリビアン・リタルチャー国際会議に出席, 資料収集	10.10.31 } 10.11.9

## ( 外 国 人 来 訪 者 )

氏 名 ( 国 籍 )	本国における 所属機関・職名	来 学 目 的	本学受入れ先	期 間
James Woodburn ( 連 合 王 国 )	ロンドン大学 経済政治学校(LSE)教授	富山人類学談話会出席及び研究打合せ	人文学部・助教授 竹内 潔	10.10.22 } 10.10.24
Barry Hewlett ( U . S . A )	ワシントン州立大学助教授	富山人類学談話会出席, 講演及び研究打合せ	人文学部・助教授 竹内 潔	10.10.22 } 10.10.25
Serge Bahuchet ( フ ラ ン ス )	フランス国立科学研究センター(C.N.R.S)研究部長	富山人類学談話会出席及び研究打合せ	人文学部・助教授 竹内 潔	10.10.31 } 10.11.3
Emmanuelle Olivier ( フ ラ ン ス )	フランス国立科学研究センター(C.N.R.S)研究員	富山人類学談話会出席, 講演及び研究打合せ		
劉 起 運 ( 中 国 )	中国人民大学 国民経済管理系教授	講演会における基調講演・討論, 研究交流	経済学部・教授 松川 滋	10.10.21 } 10.10.23
J.F.Ogilvie ( カ ナ ダ )	サイモンフレーザー大学 教授	学術討論	理学部・教授 高木 光司郎	10.10.18 } 10.10.20

## 職 員 消 息

## ＜住所変更＞

部 局 名	官 職	氏 名
教 育 学 部	教 授 (社会科教育)	佐 藤 幸 男
工 学 部	文 部 事 務 官 (学務係学生主任)	畠 山 節 子

## ＜新任者住所＞

部 局 名	官 職	氏 名
経 済 学 部	教 授 ( 民 事 法 )	田 沼 柁

## 主 要 行 事

## 本 部

- 10月 1日 職員教養研修開講式  
大学院工学研究科（博士後期課程）学位記授与式
- 2日 教養教育に関する全学シンポジウム
- 3日 学内釣大会（富山新港東防波堤）  
学内硬式庭球大会
- 5日 第9回国際交流委員会留学生部会
- 6日 高等学校長協会と富山大学との懇談会  
平成11年度科学研究費補助金公募要項等の説明会（名古屋大学）
- 6日～8日 給与実務担当者研修会（金沢広坂合同庁舎）
- 6日～9日 平成10年度国立学校等課長補佐研修（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- 8日 富山地区国立学校技術職員研修  
文部省共済組合地区別事務担当者打合せ会議（KKRホテル金沢）  
労務管理研究会（D研）（石川厚生年金会館）
- 8日～9日 文部省予算実施状況調査  
第19回全国国立大学学生部長協議会（新神戸

オリエンタルホテル）

- 9日 第1回学生生活協議会文化部会  
第58回東海・北陸地区国立大学等施設部課長会議（岡崎国立共同研究機構）
- 13日～15日 パソコン研修会
- 14日 第2回学生生活協議会体育部会
- 15日 フルブライト・メモリアル基金アメリカ人教員一行学長表敬訪問  
平成10年度東海・北陸地区国立大学学生部次長・課長会議（名古屋大学）
- 15日～16日 第19回国立大学等研究協力部課長会議（虎の門パストラル）
- 19日 交通安全一斉指導  
改正給与法関係勉強会（名古屋合同庁舎）
- 19日～30日 富山大学リカレント学習コース「WWWコンテンツ作成技術の基礎から応用まで」
- 20日～23日 平成10年度国立大学等国際交流担当職員研修（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- 21日 平成10年度就職講演会（朝日ホール 名古屋市）
- 21日～23日 富山県地区国立学校等中堅係員研修（立山少年自然の家）

- 第36回全国厚生補導研究集会（信州大学）  
 22日 国立大学協会第7常置委員会（国立大学協会）  
 26日 第5回教養教育委員会企画専門委員会  
 北陸地区国立大学等人事担当課長会議（高岡短期大学）  
 26日～27日 第33回東海・北陸地区国立大学事務局長会議（岐阜大学）  
 北陸地区大学等厚生補導担当者研修会（呉羽ハイツ）  
 27日 行政庁訟務事務担当者事務打合せ（富山合同庁舎）  
 北陸地区国立学校情報化推進協議会（金沢大学）  
 28日 第6回教養教育推進特別委員会  
 28日～30日 文部省施設実地監査  
 29日 第3回国際交流委員会学術交流部会  
 29日～30日 国立大学学生部次長協議会（コープ・イン・京都）  
 30日 五福地区構内交通規制に関する実施要項見直し小委員会  
 大学等就職問題連絡会議（県民会館）  
 富山県大学学生部懇談会（富山医科薬科大学）

## 人文学部

- 10月 5日 学部入学者選抜方法検討委員会  
 7日 教授会  
 教授会（人事）  
 12日 特別昇給委員会  
 15日～16日 国立17大学人文系学部長会議及び同事務長会議（名鉄トヤマホテル）  
 26日 特別昇給委員会  
 28日 教授会

## 教育学部

- 10月 1日 学部改組ワーキンググループ会議  
 学部入学試験委員会  
 4日 附属幼稚園運動会  
 7日 学部学生生活委員会  
 学部教務委員会  
 12日 平成10年度日本教育大学協会北陸地区会学長・副学長・学部長・学部教員合同会議（金沢大学）  
 13日 学部カリキュラム委員会

- 14日 学部就職指導委員会  
 教授会  
 人事教授会  
 15日 フルブライト・メモリアル基金（FMF）アメリカ人教員（20人）来学  
 19日 学部改組ワーキンググループ会議  
 20日 附属幼稚園避難訓練  
 21日 平成11年度大学院教育学研究科入学者選抜試験  
 22日～23日 平成10年度秋季全国国立大学教育学部長会議（山口大学）  
 27日 学部カリキュラム委員会  
 学部紀要編集委員会  
 28日 研究科委員会小委員会  
 研究科委員会  
 学部改組ワーキンググループ会議  
 29日 大学院教育学研究科入学試験合格者発表  
 30日 学部カリキュラム委員会  
 日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会（KKRホテル東京）

## 経済学部

- 10月 7日 人事教授会  
 研究科委員会  
 教授会  
 学部教務委員会  
 8日 将来構想等検討委員会  
 学部学生生活委員会  
 学部入学試験委員会  
 9日 学部自己点検評価委員会  
 13日 就職指導委員会  
 14日 学部国際交流委員会  
 財務委員会  
 19日 総務委員会  
 21日 防火・防災対策委員会  
 図書等委員会  
 22日 生涯学習・広報委員会  
 22日～23日 第14回国立12大学経済学部・経営学部教官懇談会（香川大学）  
 23日 情報処理委員会  
 27日 学部教務委員会  
 28日 総務委員会  
 人事教授会

## 教授会

29日 第1回就職ガイダンス（3年生対象）

## 生涯学習教育研究センター

10月 1日 第10回大学開放の在り方に関する研究会（神戸国際会議場）

2日 第4回生涯学習実務者協議会（兵庫県民会館）

## 理 学 部

10月 6日 学部就職委員会（持ち回り）

7日 学部予算委員会

学科長会議

14日 理工学研究科博士前期課程理学部会

教授会

教授会（人事）

22日 国立22大学理学部長会議（KKR HOTEL TOKYO）

23日 国立大学理学部長会議（KKR HOTEL TOKYO）

28日 学部学生生活委員会

学部予算委員会

## 総合情報処理センター

10月 8日～10日

第10回学術及び総合情報処理センター研究交流・連絡会議（山口大学）

30日 第13回学術及び総合情報処理センター長会議（金沢大学）

## 工 学 部

10月 2日 学位記授与式

5日 物品検査

7日 消防訓練

8日 学生生活委員会

12日 後学期授業開始

学部図書委員会

14日 教授会

専任教授会

工学研究科博士後期課程委員会

学部運営委員会

16日 電子広報委員会

19日 教官要覧編集委員会

22日～23日 第51回国立大学工学系事務長会議（鹿児島大学）

23日 学部教務委員会

28日 学部施設整備委員会

29日～30日 第31回北陸信越地区国立大学工学部長会議（福井大学）

## 地域共同研究センター

10月 5日～12日

先端技術研修（新素材コース）

編 集	富山大学庶務部庶務課 富山市五福3190
印刷所	あけほの企画株式会社 富山市住吉町1丁目5-18 電話 (24)1755(代)